

シンポジウム当日のSlido（スライドウ）による質問と回答

No.	内容	回答
1	街の賑わいを戻すためには、道路整備だけではなく経済の発達も重要であると考えます。神保原駅北口先の旧トライアル跡地を娯楽施設や若者の集まる施設に変えるなどして若者に魅力を感じさせる必要があるのではないのでしょうか。	地域の賑わい作りのため、人が集まれるしかけ作りについて、大型商業施設跡地の活用方法も踏まえ検討してまいります。
2	上里町駅北の開発を考えたとき、現ヤマトの私有地の改善をぬきには考えられないと思います。	大型商業施設跡地の活用は駅周辺の活性化に大きな効果が見込めるものと考えています。地権者様と情報共有し、ご意向も踏まえた上であらゆる選択肢を検討してまいります。
3	土地（大型商業施設跡地）について、町での取得を前提に計画が進むと思います。ここを抜きの計画は絵に描いた餅になります。	
4	民間の企業には時間が大切です。1. 早期に買収するか 2. 土地の等価交換をするか 3. 土地の買収を断念するか 早急に検討対応をお考えください。	
5	上里町として「住み続けられるまちづくり」としてこの駅前周辺の開発を手掛けられる計画と認識していますが、そういった将来の上里町像に対して、今回賑わい作りをメインテーマとする意義や目的などを参考にお聞かせください。	将来に渡り持続可能なまちを目指していく中で、駅を中心としたコンパクトなまちづくりを推進しています。それを踏まえ、ハード整備のみならず、賑わいの創出により駅周辺が活性化され、人が集まる環境を整えることで町の発展に繋げていきたいと考えています。
6	上里町の高齢化率はどのくらいですか？また、周辺自治体と比べてどのくらい差がありますか？	上里町：27.5% 本庄市：28.1% 神川町：31.6% 美里町：32.7% （各市町の高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画より）
7	令和3年度、4年度と莫大な業務委託費を使っているが、その結果等がありません。今後人口減少が急速に進む中、町の考えがわかりません。	まちづくりの推進にあたり、これまで計画策定や各種調査等、業務委託を行ってまいりました。それを基に今後、駅前広場や駅前通り、駅北東通り線などの整備等進めてまいります。
8	駅周辺の地権者は意外に国や自治体が多いと言われましたが、神保原駅北口はその比率はどれくらいでしょうか。	今後のまちづくりの状況により変動していきませんが、現在は駅前にある町営駐車場や、町営駐輪場、町道などが町の所有となっています。
9	空き店舗をリフォームして入居したい場合、オーナー様の了解はとれるものですか？	交渉次第にはなりますが、今後の支援策の一つとして、駅北に出店機会を増やすことができるよう駅北整備計画範囲内において、空き店舗等のオーナー様と出店をお考えの事業者様とのマッチング事業を検討してまいります。 検討に向けてまずは、空き店舗のオーナー様に取組内容のご理解をいただき、モデル事業としてのご協力をお願いしていきたいと考えております。
10	ウォーカブルは分かりづらいですね。若年から高齢者まで理解出来る言葉がよいです。	令和2年よりまちなかウォーカブル推進事業として国で推進している名称です。ウォーカブルという言葉が浸透できるよう、皆様へ丁寧に説明してまいります。
11	なにごとにもPRが大事だと考えています。PRするのに良い方法はなんだと思いますか？	町の魅力をPRするため、広報誌やホームページ、Instagram等のSNSを活用した周知を引き続き行ってまいります。
12	駅前通り（整備に20年かかる）に賑わいが復活する可能性はありますか。	地域の皆様や民間事業者、行政が連携し、地域の魅力や価値の向上を図ることが重要と考えておりますので、賑わいの創出に繋がるよう取り組んでまいります。
13	上里町在住の学生は上里町は他の市に劣っていると考えております。遊びに行くにしても高崎市や熊谷市に流れていく傾向があります。学生同士で話していても将来は都会に住みたいと考えている学生がほとんどで、自分の街を活性化させようとする学生はかなり少ないです。そこを改善しない限り、街の発展は見込めないと考えております。	都会にはない地元の良さに気づきまちづくりに関心を持つことが大切なのではないかと考えています。地域の活性化には若い力が必要です。今後町の魅力のPRに努めてまいります。
14	駅前通りに賑わいを取り戻していくために、まずはどのような取り組みをするべきだとお考えでしょうか？人が滞留できる空間づくり先でしょうか？それとも店舗などの立地でしょうか？（上里町ではどのような対策が望ましい？）	従来はハード整備した後ここを使ってください、という順でした。これからは逆で少しずつ実験を繰り返しプレイヤーを見つけ、まちに関わる人達がどのような使い方をしたいか、そのサポートとしての制度設計やハード整備が必要と考えます。
15	駅前通りの呼び水となる仕掛けには、地元ニーズへの対応が先行するのか、やる気のある方が地元を動かして行くのか。ニワトリタマゴのような話かもしれませんが、どのようにとっかかりを持つべきでしょうか？	

No.	内容	回答
16	まちづくり・賑わいづくりにおいては「まちの4層構造」における「土地オーナー」の協力的な参画が重要かと思われます。個人等が土地オーナーとなっている場合、協力的でない土地オーナーもいると思いますが、協力的に参画いただくためのテクニックなどはありますでしょうか。	まちづくりの関心を高め、まちづくりに参画してもらうため、地道に議論を重ねていくことが重要と考えます。
17	住民参加のまちづくりですが、住民の感心度を高めるためにはどうしたら良いのか。上里町の場合、神保原駅周辺以外の人達への呼びかけが不足しているため、感心度が低いと思われる。	
18	自分にはまちづくりでなにが協力できるのでしょうか？	自分だったらこう活用したい、など自分ごととして関わってもらうことが重要と考えます。
19	自分にはまちづくりでなにができるのかわからない	
20	駅通りのにぎわいを取り戻すには、最初に道路の拡幅ありきから、スタートするのは、なぜなのでしょう？	道路拡幅により歩行空間や残地を活用した小公園や賑わい作りのための整備をすることを検討しています。この機会を活用してただのハード整備だけに留まらない効果を生むために取り組んでまいります。
21	これからの時代で空き家が激増すると思います。そこに県外の方が住む事を考えると、空き家のリフォームが必要かと思えます。すぐに民間企業が入ってきてくれれば良いですが、こなれば町が補助金を出して呼び水が必要になりますかね？ 今後、空き家の取り組みについてお聞きしたいです。	空き家の課題は借りたい人よりも貸したい人が少ないことが大きな要因です。思い入れがあることはもちろん、残置物の整理や設備類の更新など貸すためのハードルが高いため、そこを支援する組織やサポートできる仕組みが整わなければなりません。町では町の産業や活性化を図ることを目的に空き家活用に係る家賃補助・改修費補助によりサポートできる体制を作っていますが、今後、より推進していく必要があると考えています。
22	賑わいをあえて作らないと仰ってましたが、町民は賑わいを求めています。	イベントのような一過性の「賑わい」ではなく、日常的に人がいる場所を作ることが重要だという意味で「賑わい」を作らない、という意図がありました。
23	地元住民は町の魅力に気づきづらいです。町外の方から、先生からご教示頂くと今後のまちづくりに役立つのではないのでしょうか。	古い建物や街路が残っており、すごくワクワクします。プレイヤーがまだ少ないことは、関わりしるが大きく、1人1人の活躍の影響力が大きいとも言えるので、これも可能性です。また、周辺に優良な農地が広がっているため、街と農との連携ポテンシャルが高いと思っています。
24	登壇している方々の上里町の印象を聞きたいです。	
25	お店をやってみたいと思う人(プレイヤー)が、どんな場所でも出てくるものなのでしょうか？プレイヤーの見つけ方やきっかけづくりのコツなどあれば、お話し頂けるとありがたいです。	マーケットなどがプレイヤー同士が交流する場となり輪が広がります。お客さんを町に呼ぶことも大事ですが、プレイヤーから町に興味を持ってもらうことも必要です。
26	上里町が、近隣市町と比べて優れているところ、不足しているところはそれぞれ具体的に何でしょうか？イベントは一過性の賑わいに感じてしまう面もあると思いますが、真の地域活性化に繋がるために、町外の人々との継続的交流が必要だと思いますが、具体的なご提案があればお願いします。例えば、本庄市のようにネーミングライツはどうですか？	・優劣で近隣と比較するのではなく、近隣の良さを活かしながら、地域全体として魅力的になるために、上里町はどのようなポジションをとると良いか、という視点で見ると良いと思います。寄居町は、近隣には魅力で勝てないと思い、「ママが子どもを最優先にした働き方ができる町」を追求してYORIMaMaという事業を立ち上げました。 ・他市と比べて優れている・劣っているという点については比較する必要はないと考えます。そのまちに暮らす人や関わる人が、どれだけそのまちを面白がって楽しんでいるかどうかに尽きます。
27	年配の人達の中には駅周辺に駐車場が必要と考える人が多いようですが、車社会から変わっていくような気がしています。先生はいかががお考えになりますか。	今後、自動車中心の社会から人中心の社会に変わっていくのは確実と思いますが、地方ではまだまだ車の優位性は高いので、車が良い悪いという議論より、駅周辺の交通のあり方、駐車場のあり方を検討していくと良いと思います。
28	賑わいづくりを長く続けていく秘訣はなんですか？	・続けていくことが正しくて、辞めることが悪ではありません。縁あって町に関心をもって関わってくれた人を受け入れて応援できる環境が日常的にあることが大切かなと思います。そうすると続きます。 ・無理をせず、定期的開催できる規模ややり方(告知はチラシを配るのではなくSNSのみ、運営の負担を最小限にするなど)で続けることを心がけています。が、大前提、賑わいをつくらうとはしていません。あくまでも日常を少しだけ楽しむことができる場所を作っています。

No.	内容	回答
29	寄居の100人カイギは遠回りのようで、人となりを知る、繋がるという意味で非常に良い取組のように感じた。月一開催を継続していくには、目に見えない苦労があるように思うが、どういったことに気をつけながら、運営を行っていたのかお聞きしたい。	100人カイギは、全国100地域以上で開催されており、フォーマットができているために開催は比較的容易です。また、全20回で終了と、終わりが決まっていたことも、意欲を持続するには重要なポイントだったと思います。
30	マーケットのチラシのデザインコンセプトを教えてください。	神保原駅の小さな駅へ旅に出るような、地元の人にはない目線で良さを再発見して欲しいというコンセプトです。旅先で良い香りがふわっと香る、川の水の音がする、イメージも使っています。
31	本庄デパートメントさんが、本庄市の他にこの県北で他に候補地ってありましたか？上里町は選択肢にありましたか。本庄市に決めた理由をお聞かせください。	本庄の北口の商店街が規模や古さ、佇まいがとても好みで、そこで何かしたくて移住し活動を始めました。本庄市以外は検討していませんでしたが、よそ者だからかあまりこの市かという感覚はなく、「本庄市に移住した」というよりも「本庄駅近くの商店街に移住した」という感覚です。
32	藤村さん！これまでのご経験を活かしていただき、私も上里町の活性化と一緒に取り組みたいです。楽しみです。	多くの感想やコメントを頂きましたことありがとうございました。
33	駅からの舗道が人々の寛ぎの場となるよう、食やモノ・コトなど、その場で手づくりする人が集まれる場にしたいですね。訪れる人の事前関心と訪れた時のワクワク感を生み出し、増やしていける、そんなウォークアブルカルチャーストリート！みたいなイメージが出来上がっていくと楽しい街として、神保原駅を降りる目的が羽田まで広がりそうですね。	
34	住んでいる人が楽しんでいるまちは外部からは魅力的に感じると思いました。居心地の良い場所をたくさんつくることが大事だと感じました。	
35	上里町でも盛り上がりたい。	
36	1年後2年後5年後の展望も気になりますわくわく。	
37	おそらく高崎線上で、1番小さく古い駅舎。ホームには七福神と小さな池、おばあちゃんの手作り座布団のある待合室、そんな神保原駅が私は好きです。こんな思いを残しつつの開発も可能かなあ。	
38	まちづくりは自分ごとであるということ。共感できます。今回、自分ごとになっている人がたくさんいることがわかって今後が楽しみになります。	
39	登壇者の皆さん楽しく仕事してそうですね。	
40	街に関わる階層を4段階で分けて考えられているのが分かりやすく参考になりました。	
41	すみません。質問ではなく、本庄からの参加者の感想です。本庄では、デパートメントの2人の動きに呼応して、楽しんでいる人が徐々に増えて、デパートメントが開店から2年間で、たくさんの仲間が出来ました。楽しくないと、負担感ばかりで続かないし、周りを巻き込むのは難しいかなあ…と、思います。	
42	1人1人が小さなアクションをする事が大事ですね。	
43	楽しさだけでなく、その中で苦労されている方もおられます。ハードが絡めばなおさらではないでしょうか。表面的な反応ですみません。	